

第3学年 総合的な学習の時間学習指導案

活動場所 3年梅組教室

授業者 藤山 仁司

児童数 26名

1 探究課題 地域活性化や町づくりに関わる人々や組織

2 単元名 三好市を 池田町を 観光客でいっぱいにしてしよう！

3 単元の目標

店や人々など、地域のことを知り、その魅力を他者に発信する活動を通して、地域のよさを理解し、地域の一員として地域を大切にする行動について考えるとともに、自分のこれからの生活について生かすことができるようにする。

4 単元について

本学級の児童は、新しいものを学ぼうとする意欲が高く、様々な課題や問題に対して自分たちで率先してアイデアを考えようとする姿が見られる。昨年度の生活科の「まちたんけん」では、池田町内の店を訪問し、町内の店や地域の人々への愛着が高まってきた。しかし一方では、特産物や観光地については、まだ知らないことが多い。また、町のために地域の方が活動していることに気付いていない児童も多い。

他教科との関連として、社会科「わたしたちのまちと市」では、三好市や池田町の学びを町のことをより知りたいという意欲・関心へとつなげた。算数科「表とグラフ」で学んだことを、アンケートやインタビューの調査結果を整理・分析する際に活用した。国語科では、総合的な時間に調べた三好市や池田町の食べ物や観光地などについて、レポートやリーフレットにまとめ、発表し、観光客に喜んでもらえる取組へと生かしていく。

本単元では、地域の魅力や人々の思いについての理解を深め、自分たちが住んでいる地域に愛着を高めてほしいと考え、3つの小単元を設定した。小単元1・2では三好市と池田町の地域活性化や町づくりに関わる人々の話を聞き、自分たちに何ができるのかを考えて行動する。学習の際には、家族や地域の方など多様な他者の考えに触れながら友達と話し合い、課題解決に向かわせたい。小単元3では、地域のために活動されている人々のことを調べる。その中でそれらの活動をしている方の思いや考えに気付かせ、自分たちの生活を振り返らせたい。そして、自分たちが住んでいる地域についてより愛着をもち、地域の一員としても自覚を高めさせたい。

5 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	① 地域の観光施設や特産物を知り、地域活性化に生かされていることを理解している。 ② アンケートやインタビューを、相手や場面に応じた方法で実施している。 ③ 地域への愛着の高まりは探究的に学習してきた成果であると気付いている。	① 相手や目的を意識し、見通しをもって活動している。 ② 課題解決に必要な情報を多様に収集し、蓄積している。 ③ 情報を整理・分析し、課題解決に向けて考えている。 ④ 活動を通して得た成果や、自らの思いを相手や目的に応じて適切な方法で表現している。	① 地域の人々と関わる中で、地域活性化のためにできることを見いだそうとしている。 ② 自分と異なる考えや意見を生かしながら、協働的に探究活動に取り組もうとしている。 ③ 地域の人々の思いや活動に気付き、地域のために自分ができることを考えようとしている。

6 指導と評価の計画(70 時間)

小単元名	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1 知ろう, 三好市の魅力 (25 時間)	・地域の方から三好市の話を聞き, 課題や活動の見通しをもつ。 (5 時間)		①	①	・発言内容 ・振り返り
	・家族へのアンケートや街頭インタビューから情報を集める。 (3 時間)	②	②		・ワークシート
	・三好市の観光地や特産物などを調べてまとめる。 (8 時間)	①			・ノート
	・観光客に喜んでもらえる企画を立案する。 (7 時間)		③	②	・ノート ・ワークシート
	・三好市の観光地や特産物などについて調べたことを発表する。 (2 時間)		④		・発言内容
2 発信しよう, 池田町の魅力 (25 時間)	・小単元 1 の活動の振り返りや, 地域の方から池田町の話聞き, 課題や活動の見通しをもつ。 (2 時間)		①	①	・発言内容
	・アンケートや街頭インタビューから情報を集め, 整理する。 (6 時間)	②	②		・ワークシート
	・池田町の観光地や特産物などについて調べてまとめる。 (8 時間)	①	④		・ノート ・発言内容
	・池田町の観光地や特産物などについて調べてまとめたものを改善する。 (本時 3/5 時間)		③	②	・発言内容 ・ワークシート
	・観光客に喜んでもらえる取組を実行する。(4 時間)			②	・制作物
3 大切にしよう, 私たちの町 (20 時間)	・公園や花壇の修繕・整備など, 町のために活動されている方の話を聞き, 町探検や街頭インタビューで気付いたことを話し合う。 (2 時間)	①			・発言内容 ・振り返り
	・保護者や全校児童, 地域の方に向けて, 地域の魅力や取組を発信する計画を立てる。 (1 時間)		①		・発言内容
	・保護者や全校児童, 地域の方に向けて, 地域の魅力や取組を発信する準備をする。 (10 時間)	③			・行動観察
	・保護者や全校児童, 地域の方に向けて, 地域の魅力や取組を発信する。 (1 時間)		④		・振り返り
	・お世話になった方に, 今後の自分と地域の関わりについての考えを手紙に表す。 (4 時間)		④		・手紙
	・活動を通しての自分の変容を振り返り, 作文にまとめる。 (2 時間)			③	・作文

7 本時

(1) 目標 専門家からのアドバイスを基に調べたことから得られた情報を整理し、改善点を話し合うことができる。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準及び評価方法
1 本時のめあてを確認する。	○前時までの学習を振り返り、学習の見通しをもつことができるようにする。	
2 班ごとに改善点について話し合う。	○考える視点(紹介, 工夫, 思い)に沿った話し合いができるようにする。	自分と異なる考えや意見を生かしながら, 協働的に探究活動に取り組もうとしている。 (態②: 発言内容)
3 班の意見を全体で共有する。	○改善したことや困っていることを共有できるようにする。	
4 本時の振り返りをし, 次時の活動を考える。	○振り返る視点(新しく気付いたことや再確認したこと, どうしてそう思ったのか)を提示し, 振り返らせる。	情報を整理し, 課題解決に向けて考えている。 (思③: ワークシート)